

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 内 容
<p>1 実践1</p> <p>【負傷動物の保護と命を大切に活動】</p>	<p>令和6年2月に通学路で児童が片耳と片足のないウサギを発見し保護した。ウサギは瀕死の状態であったが、多くの人たちの手当や世話により元気を取り戻した。児童も「なめかわみるく」と名付け進んで世話をする姿が見られた。しかし、9月に骨折してしまい、その治療に多額の費用がかかることになった。そこで、「一つの命を救おう」と児童や保護者・職員が協力して募金活動を行い、募金が集まった。</p> <hr/> <p>成果</p> <p>負傷動物の命を救う活動を通して命の大切さを学ぶことができた。また、人間の命を大切にしようという生命尊重の意識も高まった。また、ウサギの片耳、片足が無いということから、障害のある方たちへの思いやりの気持ちも育てることができた。この活動は負傷動物の保護として茨城県獣医師会より表彰された。</p> <hr/> <p>課題</p> <p>動物ばかりではなく、自分や他人の命を大切に生命尊重の意識や障害がある方たちへの思いやりの気持ちを今後も教育活動全体を通して育てていく必要がある。</p>
<p>2 実践2</p> <p>【なめかわミュージックフェスティバル さわやかマナーアップ週間】</p>	<p>今年も「なめかわミュージックフェスティバル」の第2部として「なかよし集会」を行った。各学級で全児童が「みんな仲良く楽しい学校するにはどのようにしたらよいのか」について考え、自分ができることを書き教室に掲示した。</p> <p>また、各学級で「なかよしスローガン」を決め、「創立を祝う会」で発表した。スローガンは人権コーナーに掲示し、保護者にも周知した。</p> <p>さわやかマナーアップ週間では、進んであいさつができるように運営委員会とJRC委員会の児童が中心となり、滑川中学校の生徒にも協力してもらい朝の登校時にあいさつを行った。また、看護目標の中に「あいさつをしよう」という目標を入れ各学級で取り組んだ。</p> <hr/> <p>成果</p> <p>みんなが仲良くいじめのない学校を作るのにどのようにしたらよいかを考えることができた。また、ミュージックフェスティバルの練習を通して学級の絆を深めることができた。</p> <p>あいさつ運動を期間を決めて行うことにより、あいさつをする意識が高まり、自分からあいさつをする児童が増えた。</p> <hr/> <p>課題</p> <p>今年はオンラインにしたため、全学年が参加できた。あいさつ運動も過去2年間は感染症で中止となっているが、日数を絞ったため実施できた。今後も形態や日数について工夫していきたい。</p>